

「JIS規格」に係る調査結果及び対応(案)

	試験	試験方法等	旧		新		改正の影響	
			項目	JIS	項目	JIS		
1		共通	「化学製品のふり残分試験法」	K0069(1966)	「化学製品のふり残分試験法」	K0069		
2		燃焼試験	「標準ふり」	Z8801(1987)	試験用ふり—第1部:金属製網ふり 試験用ふり—第2部:金属製板ふり 試験用ふり—第3部:電成ふり	Z8801-1 Z8801-2 Z8801-3	枝番が付いただけで、特に影響はない。	
3			「臭素酸カリウム(試薬)」	K8530(1961)	「臭素酸カリウム(試薬)」	K8530		
4			「過塩素酸カリウム(試薬)」	K8226(1986)				
5			「玉軸受用鋼球」	B1501(1988)	転がり軸受—鋼球	B1501		
6		「ころ軸受用ころ」	B1506(1976)	転がり軸受—ころ	B1506			
7		落球式打撃感度試験	「高炭素クロム軸受鋼鋼材」	G4805(1970)	「高炭素クロム軸受鋼鋼材」	G4805	規格に変更がなく特に影響はない。	
8			「研磨紙」600番	R6252(1976)	「研磨紙」	R6252		
9			「塩素酸カリウム(試薬)」	K8207(1961)	「塩素酸カリウム(試薬)」	K8207		
10			「硝酸カリウム(試薬)」	K8548(1975)	「硝酸カリウム(試薬)」	K8548		
11			「赤りん(試薬)」	K8595(1961)				
12			大量燃焼試験	「自動車用緊急保安炎筒」	D5711(1982)	「自動車用緊急保安炎筒」	D5711	
13			鉄管試験	「配管用鋼製突合わせ溶接式管継手」(下ふた)	B2312(1986)	「配管用鋼製突合わせ溶接式管継手」	B2312	
14		「圧力配管用炭素鋼鋼管」(鋼管&下ふた:素地)		G3454(1984)	「圧力配管用炭素鋼鋼管」	G3454	規格に変更がなく特に影響はない。	
15		「機械構造用炭素鋼鋼材」(下ふた)		G4051(1979)	「機械構造用炭素鋼鋼材」	G4051		
16		「電気配管」		K4807(1981)	「工業配管及び電気配管」	K4806	「6号」部分を削る。※1	
17		「黒心可鍛鉄品」(上ふた:素地)		G5702(1978)	「可鍛鉄品」	G5705	材質(FCMB28)を(FCMB275-5)に変更※2	
18		「ねじ込み式鍛鉄製管継手」(上ふた)		B2301(1988)	「ねじ込み式鍛鉄製管継手」	B2301		
19	2類	引火点測定試験	「セタ密閉式引火点測定器」	ASTM D3278(1982)	「セタ密閉式引火点測定器」 引火点の求め方—第2部:迅速平衡密閉式	D3278 K2265-2	規格を変更(試料量・保持時間に違いがある。)※3	
20	3類	自然発火性試験	「化学分析用磁器カッセロール」	R1305(1980)			廃止しても特に影響はない。	
21			「ろ紙(化学分析用)」:直径90mm	P3801(1976)	「ろ紙(化学分析用)」	P3801	規格に変更がなく特に影響はない。	
22	4類	引火点測定試験	「原油及び石油製品引火点試験方法」 タグ密閉式引火点試験器 クリーブランド開放式試験器	K2265(1980)	引火点の求め方—第1部:タグ密閉式	K2265-1	規格に変更がなく特に影響はない。	
					引火点の求め方—第2部:迅速平衡密閉式	K2265-2		
					引火点の求め方—第3部:ペンスキーマルデンス密閉法	K2265-3		
					引火点の求め方—第4部:クリーブランド開放式	K2265-4	大気圧補正值に影響あり	
23		セタ密閉式引火点測定器	ASTM D3278(1982)	「セタ密閉式引火点測定器」 引火点の求め方—第2部:迅速平衡密閉式	D3278 K2265-2	規格を変更(試料量に違いがある。)※3		
24	5類	圧力容器試験	「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」	H4000(1988)	「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」	H4000		
25			JIS板厚公差 板厚H24	H0001(1979)	JIS板厚公差 板厚H24	H0001		
26	6類	燃焼試験	「化学分析用磁器蒸発ざら」	R1302(1980)	「化学分析用磁器蒸発ざら」	R1302	規格に変更がなく特に影響はない。	
27			「硝酸」	K1308(1983)	「硝酸」試薬	K8541		
28		液状確認	「石油類試験用ガラス製温度計」	B7410(1982)	「石油類試験用ガラス製温度計」	B7410		
29		動粘度測定	「液状の樹脂の回転粘度計による粘度試験方法」	K7117(1987)	プラスチック—液状、乳濁状又は分散状の樹脂—ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法	K7117-1		
					プラスチック—液状、乳濁状又は分散状の樹脂—回転粘度計による定せん断速度での粘度の測定方法	K7117-2		
30		燃焼点測定	タグ開放式引火点測定器	ASTM D1310(1986)	タグオープンカップ装置による引火点及び液体の消火点の標準試験方法	ASTM D1310		
31		可燃性液体量	蒸溜を行う方法「塗料一般試験方法」	K5400(1979)	蒸溜を行う方法「塗料一般試験方法」	K5600-1-1~9-3		
32			「ガスクロマトグラフ分析のための通則」	K0114(1982)	ガスクロマトグラフ分析—通則	K0114		
33	その他		カールフィッシャー法「化学製品の水分試験方法」	K0068(1966)	カールフィッシャー法「化学製品の水分試験方法」	K0068		
34			発火点測定	発火点測定器	ASTM E659(1978)	化学物質の自然発火温度に関する標準試験方法	ASTM E659	
35		沸点測定	「自動車用非銻油系ブレーキ液」	K2233(1989)	「自動車用非銻油系ブレーキ液」	K2233		
36			測定温度補正「燃料油蒸留試験方法」	K2254(1980)	石油製品—蒸留性状の求め方	K2254		
37		酸素指数測定	酸素指数測定法による高分子材料の燃焼試験方法	K7201(1976)	プラスチック—酸素指数による燃焼性の試験方法—第1部:通則	K7201-1		
					プラスチック—酸素指数による燃焼性の試験方法—第2部:室温における試験	K7201-2		
					プラスチック—酸素指数による燃焼性の求め方—第3部:高温における試験	K7201-3		
38		燃焼熱量測定	ポンプ熱量計による総熱量の測定方法	M8814	石炭類及びコークス類—ポンプ熱量計による総発熱量の測定方法及び真発熱量の計算法	M8814		

※網掛け部分は「危険物の試験及び性状に関する省令」に規定されているJIS規格

- ※1 6号という文言がないため、6号を削る必要がある。
 ※2 引張り単位の変更(N/mm²←kgf/mm²)に伴い、材質のFCMB28をFCMB275-5Iに変更する必要がある。
 ※3 セタ密閉式(ASTM)と迅速平衡密閉式(JIS)は、構造がほぼ同じであるため、今後は迅速平衡密閉式も使用できるようにする必要がある。
 現行の規格では、予期引火点によって試料量及び保持時間が異なるが、個別の試験手順については、全体のバランスを見ながら改正する。